

平成24年度 決算の概要

今回の定例会に、平成24年度一般会計決算及び4つの特別会計決算が提出されました。

本会議では、一般会計決算については18名で構成する決算審査特別委員会を設置して付託され、9月9日から12日まで行われ、特別会計決算については建設環境委員会、市民厚生委員会に付託され、それぞれ原案のとおり認定されました。

一般会計決算の審査から

決算の特徴について

問 平成24年度決算の特徴について伺いたい。

答 決算規模は、歳入は230億8千万円で、前年度比で3.3%の増加、歳出は223億4千万円で、2.8%の増加となっている。この結果、実質収支は7億4千万円で、前年度に比べ1億2千万円の増となった。これは、経費節減に努めたことと、市税等の収入確保に意欲的に取り組んだ結果である。特に市税収納率は前年度比1.5ポイント増の95.4%となり、収納努力の成果が現れている。

収納率の向上及び徴収の実態について

問 調定に対する収入割

被災児童生徒就学支援等事業補助金について

問 都支出金の教育費都補助金の中に被災児童生徒就学支援等事業補助金

おむつ等助成費及びおむつ等扶助費について

問 障害者福祉事業費のおむつ等助成費は平成23年に比べて件数が増えて

国際化推進事業費について

問 国際化推進事業費の内容は。また、どのような観点からこの事業を始めたのか。

答 第4期総合計画の中にも、日本人と外国人がともに安心して生活できるまちづくりを推進するための「多文化共生と国際交流の推進」という施策があり、意識の啓発を目的として、講演会等の事業を実施しているものである。平成24年度は、明星大学の人文学部の教授を招き、「多文化共生の現状と課題について」をテーマに、職員向けの講演会を1回開催している。

障害者日中活動サービス推進事業について

問 障害者日中活動サービス推進事業は昨年の新規事業で、10分の10の東京都の補助金だと記憶しているが、その点について確認したい。

また、この事業の内容について伺いたい。

次世代モビリティ活用モデル事業について

問 カーシェアリングの実証実験が引き続き行われているが、利用実績やCO₂削減等、ある程度数字も出てきており、そろそろ結論を出す時期ではないか。

答 平成24年度の年間の実績を重視し、平成25年度の上半期の実績を踏まえて、費用対効果を含め、利便性、公共性、公益性、将来性等を総合的に考慮して結論を出す必要がある。実証実験開始時には

農業委員会の体制と活動について

問 平成24年度の農業委員会の体制と活動について伺いたい。

答 福生市農業委員会は、女性を含めた7人の農業委員で活動している。また、事務局は平成24年度に全校でのスクールカウンセラーに配置に取り組みしたが、小・中学校それぞれ

スクールカウンセラーの割り振りについて

問 福生市は平成24年度に全校でのスクールカウンセラーに配置に取り組みしたが、小・中学校それぞれ

児童や保護者への適切な対応ができるようになったと考えている。



▲平成24年度一般会計決算を起立多数で可決

平成24年度 会計別決算額

会計区分	歳入決算額	歳出決算額	残額(翌年度繰越額)
一般会計	230億7,970万6,634円	223億4,013万3,639円	7億3,957万2,995円
特別会計			
国民健康保険特別会計	69億2,462万5,771円	67億7,841万2,903円	1億4,621万2,868円
介護保険特別会計	33億6,520万9,368円	33億0,279万6,797円	6,241万2,571円
後期高齢者医療特別会計	9億8,596万1,840円	9億7,014万5,482円	1,581万6,358円
下水道事業会計	17億1,210万9,097円	16億2,388万4,451円	8,822万4,646円
総合計	360億6,761万2,710円	350億1,537万3,272円	10億5,223万9,438円

平成24年度 一般会計予算の款別内訳 ()内の数字は合計に占める割合

